

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年10月30日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	調布地域情報化推進協議会			代表者名	三木 哲也
担当者部署	NPO法人調布市地域情報化コンソーシアム			連絡先電話番号	042-487-4282
担当者役職	代表理事	担当者氏名	大前勝巳	連絡先E-mail	
住所	182-0026 東京都調布市小島町2-40-10 CFビル2F				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	調布市	連絡先部署	総務部情報管理課		
担当者氏名	鈴木宏昌	連絡先電話番号	042-441-6117	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	河井 孝仁
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	協議が一定の方向に定まらず、苦慮していた中、別のアプローチを検討した際にも、専門的な検知からの的確なアドバイスをいただけました
アドバイザーへの要望事項	特にございません。引き続きよろしくお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年10月29日	19時00分	21時00分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	協議会メンバーと調布市役所職員	12人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	市民団体の活性化をするには、市民団体がもっとうまく情報発信ができることが必要と考え、先生の指摘により、市民団体とはどういう組織か?活性化とはどういうことか?について、あらかじめ内部で協議を進めた。1つの市民団体を特定し、その情報発信の課題解決を進めることを協議したが、別途、情報発信の重要な担い手の1つである地域メディアの連携を進めることの方が優先度が高いと判断。次のアクションは決まったが、ゴールまでの道のりがまだぼんやりしている。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	地域や市民団体の活性化の定義と地域メディアのあり方を明確に結び付け、あるべき姿までの道筋を見つけること	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	地域メディアの連携を進める上で、考慮すべきこと。どういう場にするのが望ましいか。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	次のアクションが決まったこと(今回は地域メディアを集め、意見交換会を行う)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	市民団体の情報発信の協力方法について	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 行っていません	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	地域コミュニティの活性化	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

